

## **第6回猪苗代町議会定例会 町長説明要旨**

**開会：令和8年9月1日(火)**

本日、令和8年第6回猪苗代町議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、何かとご多用の中ご出席いただき、ご審議をお願いできますことに、深く感謝申し上げます。

提出議案の説明に先立ちまして、当面する町政の諸課題について、所信の一端を申し上げます。

### **(令和8年熊本地震に係る義援金の送付について)**

はじめに、去る7月28日に発生した熊本大地震により、尊い命を失われた方々に、謹んで哀悼の意を表します。

この地震により家屋の倒壊や断水など甚大な被害を受けており、現在も多くの住民の方々が避難生活を余儀なくされております。本町では、被災地の一日も早い復旧・復興に協力するため、8月4日から役場庁舎、学びいな、和みいなに募金箱を設置し、町からの義援金とあわせて、去る8月20日に日本赤十字社福島県支部会津地区猪苗代分区を通し、日本赤十字社に義援金をお渡しいたしました。

また議員会の皆様方からも義援金を賜り、心より感謝申し上げます。

### **（ごみ減量化の現状と取り組みについて）**

ごみ減量化の現状と取り組みについて、申し上げます。

本町のごみ排出量の現状ですが、令和6年度における1人・1日当たりのごみの排出量は、県内59市町村中ワースト4位となっております。

会津若松地方広域市町村圏整備組合の新ごみ焼却施設の7月における構成市町村全体の燃やせるごみ搬入量は、前年度比で約2,700トンの減となっており、管内では着実にごみの減量化が進んでいるところであります。

しかしながら、各市町村の計画に定める減量目標達成のためには、より一層のごみ減量化の取り組みが求められております。

そうした中、本町では、これまで食器類回収イベントや製品プラスチック、生ごみ回収などの資源物回収に取り組み、ごみ減量に成果をあげてきたところです。

今後も引き続き、ごみの分別やリサイクルの積極的な啓発に努め、町民の皆様のご理解、ご協力のもと、課題であるごみ減量化のために、様々な対策や事業を進めてまいります。

### **（農業情勢について）**

次に、農業情勢について申し上げます。

本町農業の基幹作物である水稻の生育状況ですが、7月下旬からの日照不足や低温により生育の遅れが心配されております。会津農林事務所の分析によると、現段階では順調に生育しているとの事で、ひとまずは安心しておりますが、引き続き情報収集と対策に努めてまいります。

国内の米の動向に目を向けると、米価の安定の為、政府に備蓄米の買戻しの要請が相次いでいる中、未だ明確な回答がなされておらず、肥料や燃料の高騰もあいまって、農家の方々は不安が募る状況にあります。

今後の政府の動向を把握しながら、関係機関と連携し、本町の持続可能な農業の実現に向けて引き続き取り組んでまいります。

### **（鳥獣害対策について）**

次に、鳥獣害対策について申し上げます。

ツキノワグマについて、福島県では4月27日から中通りと会津地域に発令していた「ツキノワグマ出没特別注意報」を8月31日まで延長しました。

町内のクマの目撃数につきましては、昨年と同程度であります。親離れした子熊の目撃割合が高いことから、クマの生息域が山奥から徐々に麓の方に移動しているものと想定されます。随時、有害鳥獣の捕

獲を実施しており、8月31日時点での捕獲数は13頭となっております。

また、クマ以外の有害鳥獣捕獲数につきましては、ニホンザルが19頭、イノシシが24頭、ニホンジカが21頭となっています。

今後も、メールによる情報提供や電気柵の推進を図るとともに、有害鳥獣駆除員との連携を密に図りながら、鳥獣害対策の取り組みを継続的に実施してまいります。

### **（商工振興対策について）**

次に、商工振興対策について申し上げます。

商工業事業者に対する金融支援では、「中小企業経営長期安定資金融資」制度資金等、これまで延べ549件の支援を実施しております。しかしながら、昨今の原油価格の高騰などにより厳しい経営環境に置かれている中小企業もあることから、資金繰りを支援するため、令和8年度中の新規借入に伴う信用保証料及び融資利子の補給率を、通常50%から100%へ引き上げることとしました。広く周知し、事業者の負担軽減と経営の安定化につなげてまいります。

さらに、物価高騰の影響を受けている飲食店や小売店などの経営安定化と、地域経済の活性化を図るため、本日9月1日から「プレミアム食事券・猪イート」を、11月1日からは「ふるさと商品券」の電子クー

ポンを発行し、消費喚起並びに、町内事業者の経営安定と地域経済の活性化を図ってまいります。

### **（観光振興対策について）**

次に、観光振興対策について申し上げます。

本年１月から６月までの、「道の駅猪苗代」を含む本町の主な観光施設における延べ入込客数は、約１３７万人となり、前年度と比較して約６万人の増加となりました。その要因としては、１月から３月にかけては、暖冬による雪不足の影響で、町内３スキー場の合計で前年度を８万人下回りましたが、４月以降は「ふくしまデスティネーションキャンペーン」の開催などにより、入込が大きく増加したものであります。

特に、「ふくしまＤＣ」においては、ＳＬの運行や野口英世記念館での特別展などが好評を博し、町内の主要な観光スポットは、多くの観光客で賑わいを見せました。今回のＤＣを通して、本町の新たな魅力が全国に発信されたことは、今後の観光振興にとって大きな成果であったと捉えております。

また、７月１８日からは、観光客の利便性向上と町内の周遊促進を図るため、１１月８日までの土日祝日、計４１日間にわたり、町内観光地周遊バス「ひでよくん号」を運行いたします。観光客の二次交通を充実させ、町内観光施設の周遊促進により滞在時間の延長と観光消費の拡大を図ってまいります。

さらに、9月21日から11月3日まで、総合芸術イベント「セプテンバー・ジャム (September JAM)」が開催されます。音楽イベントに加え、町内約20か所に、国内外で活躍するアーティストの美術作品が展示されるなど、町全体を舞台とした芸術イベントとなります。町内各所での美術作品の展示と長期にわたる開催期間を生かし、本町を訪れるきっかけづくりやリピーターの獲得につなげてまいります。こうした多彩な観光資源やイベントを有効に活用し、町全体の賑わいの創出と観光振興を一層推進してまいります。

### **(移住・定住の促進について)**

次に、移住・定住の促進について申し上げます。

本町における令和7年度の移住・定住実績については、年間の相談件数が38件となり、うち9世帯、19名の方々が本町へ移住されました。また、直近3年間では、31世帯、64名が移住しております。

移住・定住の促進は、人口減少対策のみならず、地域の担い手の確保や地域コミュニティの活性化にもつながる重要な取組であります。

今後も、東京・有楽町にある「ふるさと回帰支援センター」が主催する移住相談会をはじめ、様々な機会を捉えて、移住を検討されている方々との接点を増やすとともに、本町の魅力を積極的に発信してまいります。

### **（学校教育の取り組みについて）**

次に、学校教育の取り組みについて申し上げます。

猪苗代中学校の部活動においては、今年度も活躍が目覚ましく、陸上部、野球部、柔道部、水泳部、バドミントン部は地区予選を突破し県大会まで進み、県大会では、陸上部において女子リレーで準優勝、個人では女子共通４種競技において優勝し、野球部においては３位になるなど好成績を収めております。

総合文化部では今年も磐梯まつりに参加し、創作神輿や、菱の実の加工品販売など、地域と一体となった活動、活躍をしております。

小学校においては、７月までに初めての学校運営協議会をそれぞれ開催し、地域と協働する「コミュニティ・スクール」の取組が始まりました。

また、今年度も「いなわしろスポーツフェスティバル」を９月２９日に開催いたします。午前は小学校の野口体育祭、午後からは猪苗代中学校生徒が企画、運営する世代間交流体育祭を実施いたしますので、多くの方に来場していただけることを願っております。

猪苗代高校の全国公募についてですが、７月３１日に開催した体験入学では、県外から多数の参加があり、猪苗代高校の特徴である地域探究活動の見学や、本町への教育留学生の制度説明会に出席するなど、来年度の猪苗代高校への入学生確保に、期待が持てる内容でありました。

## **（文化芸術の推進について）**

次に、文化芸術の推進について申し上げます。

生涯学習と社会教育の推進につきましては、体験交流館「学びいな」や図書歴史情報館「和みいな」を拠点として、多くの皆様にご利用いただいております。

今年度の「学びいな夏祭り」では、猪苗代警察署、猪苗代消防署のご協力をいただき、交通安全教室やパトカー・白バイの展示、救命救急講座や各文化団体の活動の成果を観ていただくと共に、町民の交流の場を提供しております。

また、25回を数える「母から子への手紙コンテスト」は、7月1日から3ヶ月にわたる募集を始め、全国から順調に応募作品が届いております。

今後、お母さん委員会の協力のもと、1次選考を実施し、最終選考や表彰式など準備をまいります。

図書歴史情報館「和みいな」では、10月27日から11月8日まで、猪苗代が生んだ偉大な政治家「村井八郎」展を開催します。

併せて10月27日には、体験交流館「学びいな」で、猪苗代の偉人を考える会による記念講演を開催いたします。

また、歴史民俗資料館では、7月11日から12月13日まで「猪苗代城と城下町」展を開催しておりますので、多くの方に、ご来場をいただきたいと願っております。

今後も関係団体と協力し、本町の生涯学習と文化芸術を推進してまいります。

### **（スポーツの推進について）**

次に、スポーツの推進について申し上げます。

平成26年度から連続して13回目の開催となります「福島県高等学校駅伝競走大会」が、10月31日の土曜日に開催されます。

昨年度の「全国高等学校駅伝競走大会」で、学法石川高校男子が、高校最高記録と大会新記録で初優勝に輝いたこともあって、大会の模様をテレビで生中継される予定です。多くの町民に沿道で応援いただきたいと思っております。

本町といたしましては、コースの設営や運営役員等の人的支援を行い、大会運営に万全を期するとともに町民の皆様にもボランティアとして、ご協力いただき「スポーツ振興の町」をアピールしてまいります。

また、11月15日に開催される「第38回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会」につきましては、白河から県庁までの16区間での開催となります。

猪苗代町の代表として懸命に「タスキ」をつなぐ選手の皆さんをサポートしてまいります。

### **(提出案件について)**

最後になりますが、本定例会に提出いたします案件は、

- ・ 専決処分の報告案件が 1 件、
- ・ 令和 7 年度の一般会計、特別会計及び事業会計に係る歳入歳出決算の認定案件が 4 件、
- ・ 令和 8 年度の一般会計、特別会計及び事業会計に係る補正予算案件が 1 0 件、
- ・ 条例の制定及び一部改正案件が 2 件、
- ・ 財産の取得案件が 1 件、
- ・ 教育委員会の委員の人事案件が計 1 件の

合計 1 9 案件であります。

各議案の細部につきましては、それぞれ所管する担当課長に説明いたさせますので、慎重にご審議の上速やかなご議決を賜りますようお願い申し上げます。